

# 柔道整復学科教育課程表

(別表1)

	教育内容	指定 単位数	授業 方法	授業科目	履修 区分	単位数	時間数	1学年		2学年		3学年	
								単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	14	通信	人文科学Ⅰ	必修	2	90			2	90		
			"	人文科学Ⅱ	"	2	90			2	90		
			"	社会科学	"	2	90			2	90		
			講義	自然科学Ⅰ	"	2	40	2	40				
			"	自然科学Ⅱ	"	2	40	2	40				
			"	自然科学Ⅲ	"	2	40	2	40				
	"	自然科学Ⅳ	"	2	40	2	40						
	小計	14				14	430	8	160	6	270		
専門基礎分野	人体の構造と機能	15	講義	解剖学Ⅰ	必修	4	80	4	80				
			"	解剖学Ⅱ	"	4	80	4	80				
			"	生理学Ⅰ	"	4	80	4	80				
			"	生理学Ⅱ	"	2	40	2	40			2	40
			"	運動学	"	2	40					2	40
	疾病と傷害	11	講義	病理学概論	必修	2	40			2	40		
			"	一般臨床医学	"	4	80					4	80
			"	外科学概論	"	2	40			2	40		
			"	整形外科学	"	2	40			2	40		
			"	リハビリテーション医学	"	2	40					2	40
	柔道整復術の適応	2	講義	柔道整復術の適応	必修	2	40					2	40
	保健医療福祉と 柔道整復の理念	8	講義	衛生学・公衆衛生学	必修	2	40			2	40		
			"	関係法規・職業倫理	"	2	40			2	40		
実習			保健体育Ⅰ	"	2	80			2	80			
"			保健体育Ⅱ	"	2	80					2	80	
社会保障制度	1	講義	社会保障制度	必修	1	20	1	20					
	小計	37				39	860	15	300	14	320	10	240
専門分野	基礎柔道整復学	10	講義	基礎柔道整復学Ⅰ	必修	3	60	3	60				
			"	基礎柔道整復学Ⅱ	"	4	80			4	80		
			"	基礎柔道整復学Ⅲ	"	4	80			4	80		
			"	基礎柔道整復学Ⅳ	"	2	40			2	40		
	臨床柔道整復学	17	講義	臨床柔道整復学Ⅰ	必修	2	40					2	40
			"	臨床柔道整復学Ⅱ	"	2	40					2	40
			"	臨床柔道整復学Ⅲ	"	2	40					2	40
			演習	臨床柔道整復学Ⅳ	"	4	80					4	80
			"	臨床柔道整復学Ⅴ	"	4	80					4	80
			"	臨床柔道整復学Ⅵ	"	4	80					4	80
	柔道整復実技	17	実習	柔道整復実技Ⅰ	必修	2	80	2	80				
			"	柔道整復実技Ⅱ	"	2	80	2	80				
			"	柔道整復実技Ⅲ	"	2	80	2	80				
			"	応用柔道整復実技Ⅰ	"	2	80			2	80		
			"	応用柔道整復実技Ⅱ	"	2	80			2	80		
			"	応用柔道整復実技Ⅲ	"	2	80			2	80		
			"	応用柔道整復実技Ⅳ	"	5	200					5	200
	臨床実習	4	実習	臨床実習Ⅰ	必修	1	45	1	45				
			"	臨床実習Ⅱ	"	1	45	1	45				
"			臨床実習Ⅲ	"	1	45			1	45			
"			臨床実習Ⅳ	"	1	45			1	45			
	小計	48				52	1480	11	390	18	530	23	560
	合計	99				105	2770	34	850	38	1120	33	800

## 柔道整復学科 教員実務経験科目一覧

教育内容	授業方法	授業科目	履修区分	単位数	時間数	1学年		2学年		3学年		
						単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	
基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活												
専門基礎分野	人体の構造と機能											
	疾病と傷害											
	柔道整復術の適応											
	保健医療福祉と 柔道整復の理念											
	社会保障制度											
専門分野	基礎柔道整復学											
	臨床柔道整復学											
	柔道整復実技	実習	応用柔道整復実技Ⅰ	必修	2	80			2	80		
		〃	応用柔道整復実技Ⅱ	〃	2	80			2	80		
		〃	応用柔道整復実技Ⅲ	〃	2	80			2	80		
		〃	応用柔道整復実技Ⅳ	〃	5	200					5	200
臨床実習												
全課程 合計				105	2770	34	850	38	1120	33	800	
教員実務経験該当 合計				11	440	0	0	6	240	5	200	

科目名	応用柔道整復実技 I					担当者	山田 修平		
単位数	2	時間数	80	年次	2	履修期	通期	授業方法	実習
<b>【講義内容・目的】</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨折、脱臼の評価から整復までを合併症等を確認しながら実施できるようになることを目的とする。</li> <li>・軟部組織損傷の評価から処置までを理解し、実施できるようになることを目的とする。</li> </ul>									
<b>【実務経験】</b>									
本校付属接骨院での実務経験等をもとに、実体験を踏まえながら講義する。									
<b>【成績評価方法】</b>									
各個人が技術を習得できるよう講義内確認テストを行い、その合計で評価する。									
<b>【注意事項】</b>									
<b>【講義計画】</b>									
1	頸部の診察					22	肘関節脱臼(整復法) 確認テスト		
2	頸部(徒手検査法)					23	肘内障(整復法) 確認テスト		
3	肩関節部の診察					24	手関節部の診察		
4	肩関節部(徒手検査法)					25	手関節部(徒手検査法)		
5	肩関節部(徒手検査法)					25	コーレス骨折(整復法)		
6	肩関節部(徒手検査法) 確認テスト					26	中手骨鎖部骨折(整復法)		
7	肩関節部(徒手検査法) 確認テスト					27	コーレス骨折(整復法) 確認テスト		
8	肩鎖関節脱臼(整復法)					28	コーレス骨折(整復法) 確認テスト		
9	鎖骨骨折(整復法)					29	大腿部挫傷・肉離れ(検査法)		
10	鎖骨骨折(整復法)					30	膝関節部の診察		
11	肩関節脱臼(整復法)					31	膝関節部の損傷(徒手検査法)		
12	肩関節脱臼(整復法)					32	膝関節部の損傷(徒手検査法)		
13	鎖骨骨折(整復法) 確認テスト					33	膝関節部の損傷(徒手検査法)		
14	鎖骨骨折(整復法) 確認テスト					34	膝関節部の損傷(徒手検査法) 確認テスト		
15	肩鎖関節脱臼(整復法) 確認テスト					35	膝蓋骨脱臼(整復法)		
16	肩関節脱臼(整復法) 確認テスト					36	足関節部の損傷		
17	肩関節脱臼(整復法) 確認テスト					37	足関節部の損傷(徒手検査法)		
18	肘関節部の診察					38	足関節部の損傷(徒手検査法) 確認テスト		
19	肘関節部(徒手検査法)					39	復習		
20	肘関節脱臼(整復法)					40	復習		
21	肘内障(整復法)								
教科書	柔道整復学・理論編改訂7版					参考書	柔道整復学・実技編改定 2 版		

科目名	応用柔道整復実技Ⅱ					担当者	入谷 一生			
単位数	2	時間数	80	年次	2	履修期	通期	授業方法	実習	
<b>【講義内容・目的】</b>										
固定具の作成および固定する能力を培うことを目的とする。										
・固定の原則や応用を理解し、実践できる能力を培う。										
・最適な固定材料を選定・使用できる能力を培う。										
<b>【実務経験による特色】</b>										
本校附属接骨院での実務経験等をもとに、実体験を踏まえながら講義する。										
<b>【成績評価方法】</b>										
各個人が技術を習得できるよう講義内確認テストを行い、その合計で評価する。										
<b>【注意事項】</b>										
<b>【講義計画】</b>										
1	キャスト固定 L字固定				21	鎖骨骨折固定				
2	L字固定				22	肩鎖関節上方脱臼				
3	U字固定:上肢				23	肩関節前方脱臼				
4	U字固定:下肢				24	確認テスト				
5	手部の固定				25	肘関節後方脱臼				
6	手部の固定				26	第5中手骨頸部骨折				
7	足関節の固定				27	手第2指 PIP 関節背側脱臼				
8	足関節の固定				28	上腕骨骨幹部骨折				
9	熱可塑性素材での固定				29	確認テスト				
10	熱可塑性素材での固定				30	肋骨骨折				
11	参加型臨床実習ガイダンス				31	足関節外側靭帯損傷(テーピング)				
12	医療面接				32	膝関節内側側副靭帯損傷				
13	医療面接 確認テスト				33	足関節外側靭帯損傷(副子固定)				
14	体表観察(触診)				34	確認テスト				
15	体表観察(身体測定、ROM)				35	アキレス腱断裂				
16	医療面接 確認テスト				36	下腿骨骨幹部骨折				
17	体表観察(触診)				37	コーレス骨折				
18	体表観察(身体測定、ROM)				38	確認テスト				
19	確認テスト				39	確認テスト				
20	復習				40	復習				
<b>教科書</b>										
柔道整復学・実技編改訂 2 版										
<b>参考書</b>										

科目名	応用柔道整復実技Ⅲ				担当者	河原 一仁			
単位数	2	時間数	80	年次	2	履修期	通期	授業方法	実習
【講義内容・目的】									
・柔道整復師として必要な競技者の外傷予防の知識・技術を修得する。									
【実務経験】									
本校付属接骨院での実務経験等をもとに、実体験を踏まえながら講義する。									
【成績評価方法】									
定期試験素点のみで評価する。									
【注意事項】									
白衣・白衣用の靴を着用すること。									
【講義計画】									
1	運動が生体に与える影響				21	外傷予防に必要なトレーニング①			
2	運動とエネルギー代謝・骨・筋肉				22	外傷予防に必要なトレーニング②			
3	運動と呼吸・循環				23	外傷予防に必要なトレーニング③			
4	運動とホルモン、競技者の運動生理学的特徴				24	外傷予防に必要なトレーニング④			
5	競技者の外傷予防 概論				25	外傷予防に必要なトレーニング⑤			
6	メディカルチェック				26	外傷予防に必要なトレーニング⑥			
7	アスレティックリハビリテーション(総論)				27	外傷予防に必要なトレーニング⑦			
8	ストレッチ				28	外傷予防に必要なトレーニング⑧			
9	ストレッチ				29	外傷予防に必要なトレーニング⑨			
10	ストレッチ				30	外傷予防に必要なトレーニング⑩			
11	キネシオテーピング				31	外傷予防に必要なトレーニング⑪			
12	肩関節の外傷予防				32	外傷予防に必要なトレーニング⑫			
13	肩関節の外傷予防				33	外傷予防に必要なトレーニング⑬			
14	体幹の外傷予防				34	外傷予防に必要なトレーニング⑭			
15	体幹の外傷予防				35	外傷予防に必要なトレーニング⑮			
16	膝関節の外傷予防				36	成長期と高齢者の外傷予防			
17	膝関節の外傷予防				37	成長期と高齢者の外傷予防			
18	足関節の外傷予防				38	復習			
19	足関節の外傷予防				39	まとめ			
	定期試験					定期試験			
20	前期まとめ				40	まとめ			
教科書	競技者の外傷予防				参考書				

科目名	応用柔道整復実技Ⅳ				担当者	長岡正樹・山田修平			
単位数	5	時間数	200	年次	3	履修期	通期	授業方法	実習
<b>【講義内容・目的】</b> 臨床現場において遭遇する主な外傷に対応できる能力(初検・整復・処置)を身につける。									
<b>【実務経験による特色】</b> 本校附属接骨院での実務経験等をもとに、実体験を踏まえながら講義する。									
<b>【成績評価方法】</b> 定期試験の素点のみで評価する。									
<b>【注意事項】</b> 指定の白衣上下、名札を必ず着用すること。									
<b>【講義計画】</b>									
1	外傷の初検(総論)				27	冠名包帯法			
2	外傷の初検(上肢)				28	上腕骨外科頸骨折固定法			
3	外傷の初検(下肢)				29	上腕骨外科頸骨折固定法			
4	患者介助法、助手の使い方(上肢)				30	鎖骨骨折固定法			
5	患者介助法、助手の使い方(下肢)				31	鎖骨骨折固定法			
6	鎖骨骨折整復				32	肩鎖関節脱臼固定法			
7	鎖骨骨折整復				33	肩鎖関節脱臼固定法			
8	上腕骨外科頸骨折整復				34	肩関節脱臼固定法			
9	上腕骨外科頸骨折整復				35	肩関節脱臼固定法			
10	前腕遠位端骨折整復				36	肘関節脱臼固定法			
11	前腕遠位端骨折整復				37	肘関節脱臼固定法			
12	肩鎖関節脱臼整復				38	前腕遠位端骨折固定法			
13	肩鎖関節脱臼整復					定期試験			
14	肩関節脱臼整復				39	前腕遠位端骨折固定法			
15	肩関節脱臼整復				40	前腕遠位端骨折固定法			
16	肘関節脱臼整復				41	中手骨骨折			
17	肘関節脱臼整復				42	中手骨骨折			
18	肩部の軟部組織損傷検査法				43	PIP 関節脱臼固定法			
19	肩部の軟部組織損傷検査法				44	下腿骨骨折固定法			
20	大腿部の軟部組織損傷検査法				45	下腿骨骨折固定法			
21	大腿部の軟部組織損傷検査法				46	アキレス腱断裂固定法			
22	膝関節部の軟部組織損傷検査法				47	アキレス腱断裂固定法			
23	膝関節部の軟部組織損傷検査法				48	足関節捻挫の固定法			
24	膝関節部の軟部組織損傷検査法				49	足関節捻挫の固定法			
25	下腿部の軟部組織損傷検査法				50	膝関節のテーピング			
26	基本包帯法				51	膝関節のテーピング			
教科書	柔道整復学・実技編第2版				参考書				

科目名	応用柔道整復実技Ⅳ				担当者	長岡正樹・山田修平			
単位数	5	時間数	200	年次	3	履修期	通期	授業方法	実習
<b>【講義内容・目的】</b> 臨床現場において遭遇する主な外傷に対応できる能力(初検・整復・処置)を身につける。									
<b>【実務経験による特色】</b> 本校附属接骨院での実務経験等をもとに、実体験を踏まえながら講義する。									
<b>【成績評価方法】</b> 定期試験にて評価する。									
<b>【注意事項】</b> 指定の白衣上下、名札を必ず着用すること。									
<b>【講義計画】</b>									
52	足関節のテーピング				76	臨床への応用(膝部疾患)			
53	足関節のテーピング				77	臨床への応用(膝部疾患)			
54	臨床への応用(所見)				78	臨床への応用(膝部疾患)			
55	臨床への応用(所見)				79	臨床への応用(膝部疾患)			
56	臨床への応用(整復)				80	臨床への応用(下腿部疾患)			
57	臨床への応用(整復)				81	臨床への応用(下腿部疾患)			
58	臨床への応用(固定)				82	臨床への応用(下腿部疾患)			
59	臨床への応用(固定)				83	臨床への応用(下腿部疾患)			
60	臨床への応用(運動療法)				84	臨床への応用(足部疾患)			
61	臨床への応用(運動療法)				85	臨床への応用(足部疾患)			
62	臨床への応用(肩部疾患)				86	臨床への応用(足部疾患)			
63	臨床への応用(肩部疾患)				87	臨床への応用(足部疾患)			
64	臨床への応用(肩部疾患)				88	臨床への応用(頸部疾患)			
65	臨床への応用(肩部疾患)				89	臨床への応用(頸部疾患)			
66	臨床への応用(肘部疾患)				90	臨床への応用(頸部疾患)			
67	臨床への応用(肘部疾患)				91	臨床への応用(頸部疾患)			
68	臨床への応用(肘部疾患)				92	臨床への応用(体幹部疾患)			
69	臨床への応用(肘部疾患)				93	臨床への応用(体幹部疾患)			
70	復習				94	臨床への応用(体幹部疾患)			
	定期テスト				95	臨床への応用(体幹部疾患)			
71	臨床への応用(手部疾患)				96	臨床への応用(体幹部疾患)			
72	臨床への応用(手部疾患)				97	臨床への応用(股関節部疾患)			
73	臨床への応用(手部疾患)				98	臨床への応用(股関節部疾患)			
74	臨床への応用(手部疾患)				99	臨床への応用(股関節部疾患)			
75					100	臨床への応用(股関節部疾患)			
教科書	柔道整復学・実技編第2版)				参考書				